



2012年1月 新年号

# さくら

発行：偕行会透析医療事業部 さくら編集委員会

## 新年のご挨拶



偕行会グループ 透析事業本部長  
(医社) 偕翔会 理事長



さいたまほのかクリニック 院長 堀川 和裕

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。本年もよろしくお願ひ申し上げます。

皆様、どのような2012年をお迎えになったでしょうか？ 昨年も多くの透析をお受けになっているかたがた、そのご家族の皆様、様々な分野の医療関係者のかたたちから、たくさんのご支援とご協力をいただきました。この場を借りて御礼申し上げます。

### [2011年を振り返って～災害と透析医療～]

昨年3月11日の東日本大震災とそれに引き続いて起こった福島県原発事故は、長く私たちの記憶に残ることと思います。被災した地域で透析をお受けになっているかたたちは治療を受けられなくなり、他の地域への移動を余儀なくされました。私ども偕行会グループでもさいたまほのかクリニックの26名をはじめとして、東京都・静岡県・愛知県の各施設で、被災された患者さんの治療をお引き受けしました。

今回の震災への対応で、地震や台風などの自然災害への備えの重要性をあらためて痛感いたしました。大規模な災害が発生したときに被災をされたかたを受け入れること、そして反対に、私たちの地域が被災をして治療の継続ができなくなったときに、迅速に透析の継続を引き受けてくれる施設を探して、そこまでの移動の手段などを確保することなどが大きな課題です。日本透析医学会や日本